



農地法第3条の3第1項の規定による届出書

令和〇年6月×日

十和田市農業委員会会長 様

住所 十和田市西十二番町△△番××号

氏名 十和田 大次郎



下記農地(採草放牧地)について、相続により所有権を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出ます。

記

1 氏名等〔被相続人：亡 十和田 太郎〕

氏名	住所	国籍等	在留資格又は 特別永住者
十和田 大次郎	十和田市西十二番町△△番××号	日本	

(国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください。)

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	備考
	登記簿	現況		
十和田市 東一番町 △△番××	田	田	200	自ら耕作(水稻)
十和田市 大字深持字山ノ下 △△番××	畑	畑	2,000	貸借中
十和田市 大字奥瀬字中平 △△番××	田	畑	1,000	農地として管理
計		3筆	3,200㎡	



記入例  
(2部用意)

3 権利を取得した日  
令和〇年3月×日

4 権利を取得した事由(下記のいずれかに○をつけてください)  
相続・その他(※具体的に記入)

5 取得した権利の種類及び内容(下記のいずれかに○をつけてください)  
所有権・所有権以外の権利(※具体的に記入)  
田 200㎡ 畑 3,000㎡ その他 ㎡

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無(下記のいずれかに○をつけてください)  
有・無

7 現在の土地利用状況について(下記の該当する項目に○をつけてください)  
(1) 自ら耕作 (2) 農地として管理 (3) 貸借中  
(4) 耕作できない《①高齢化 ②機械不足 ③労力不足 ④後継者不在 ⑤その他( )》  
(5) 農地として利用していない(※具体的に記入: )

8 記7で(4)を選んだ方は今後の意向について、下記の該当する項目に○をつけてください。  
(1) 希望者があれば貸付けてもよい (2) 希望者があれば売却してもよい  
(3) 農地中間管理機構へ貸出してもよい

(記載要領)

- 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、「日本」)を記載してください。
- 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。また、記の1の「権利を取得した者の氏名等」は必要に応じ、行を追加してください。
- 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 記の4の「権利を取得した事由」には、相続(遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む)、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。また、共有物として農地又は採草放牧地の権利を取得した場合であつて、届出者以外にも共有者がいるときは、その人数を記載してください。なお、人数がわからない場合は、その旨を記載してください。
- 記の6の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。

第 号

年 月 日付で届出書の提出があつた、農地法第3条の3第1項の規定による届出についてはこれを受理したので通知します。  
なお、本通知は権利関係を証明するものではないので念のため申し添えます。

年 月 日  
十和田市農業委員会会長 箕輪 展忠